

文化資本を考える連続セッション

わたしたちの健康にとっての「文化資本」って何ですか？

資本とは何か？文化資本とは何か？私たちの多面的な健康やウェルビーイングにどのように関係するのか？様々な分野の参加者と共にディスカッションしながら、わたしたちの健康にとっての「文化資本」とは何かを考え、公衆衛生分野において文化資本という概念をどのように位置づけ活かすことができるのかについて考えていきます。

連続セッション①

「資本とは何か？文化資本の力」

山本哲士（哲学者、文化資本学会 学会長）

日時：2024年10月1日（火）

15：00-16：00 レクチャー、16：00-17：00 ディスカッション

場所：ハイブリッド形式

京都大学大学院医学研究科先端科学研究棟1Fセミナー室+ZOOM

連続セッション②

「公衆衛生における文化資本：文化疫学の萌芽」

土生裕（公衆衛生・疫学研究者、アーティスト）

日時：2024年10月18日（金）

15：00-15：30 研究発表、15：30-16：30 ディスカッション

場所：ハイブリッド形式

京都大学大学院医学研究科先端科学研究棟1F小セミナー室+ZOOM

連続セッション③

「文化資本のこれまでの研究。そして、その未来」

片岡栄美（駒澤大学文学部社会学科社会学専攻 教授）

日時：2024年12月13日（金）

14：30-15：30 レクチャー、15：30-16：30 ディスカッション

場所：オンライン形式（ZOOM）

参加費無料

AIによる同時翻訳あり

お申し込み方法

参加をご希望される方は右のQRコードよりお申し込みください。

締め切り：各回、開催日の前日正午



共催：公衆衛生における文化資本を考える会（代表：土生裕 共同：近藤尚己、伊藤達矢、本多由起子）
京都大学大学院 医学研究科 社会疫学分野

協力：東京藝術大学 共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点、宇沢国際学館

京都大学 学際融合教育研究推進センター・学術研究展開センター 分野横断プラットフォーム構築事業 2024